

平成27年度 施策評価表

課・グループ名	住民課環境交通グループ

作成年月日：平成28年9月1日

施策名	⑤町営墓地の環境整備 5-1-⑤		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(1) みどりあふれる快適な都市環境づくり	⑤町営墓地の環境整備
①施策のねらいと展開方向	●南幌墓地で供給区画が無くなる見込みの時点において、晩翠・夕張太墓地の環境整備の年次計画を策定します。		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	●墓地環境整備事業により、平成13年から南幌墓地が供用開始され平成22年度に通路補修、区画改修を行い平成26年1月末現在、未使用区画が大区画15区画、小区画200区画となっています。	●晩翠夕張太墓地ともに、通路整備、区画改修などの環境整備を図る必要があります。しかしながら南幌墓地の区画の需要が満たされてからとしています。	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
			成果指標 (総合計画・施策評価)			可 能	
						不 可 能	
			代替指標 ※成果指標がない場合			○ 未計測	
			指標の設定				
			A 南幌墓地小区画貸出数(年間)			○ 可 能	
		B 南幌墓地大区画貸出数(年間)			不 可 能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
②指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
A目標							
A実績	区画	4	2	2	2		
A達成率							
B目標							
B実績	区画	0	0	1	1		
B達成率							
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の 達成度	・現状の町営墓地(3箇所)の適正な維持管理を行い南幌墓地での供給区画が無くなる見込みの時点において晩翠・夕張太墓地の環境整備年次計画を策定します。 ・平成28年3月末時点で南幌墓地の未使用区画は大区画12区画、小区画195区画となっており、今後30年以上は供給できると考える。 (平成27年3月末時点未使用区画：大区画13区画、小区画197区画)
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
						単位							
1													
2													
3													
4													
5													

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H27事業費

H28予算

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)		
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性

※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性	事業番号		平成29年度以降 の予算の方向性	
			A	事務事業なし		拡大
			B			維持
			C			
			D			縮小
		優先度 A~D (ランク)				